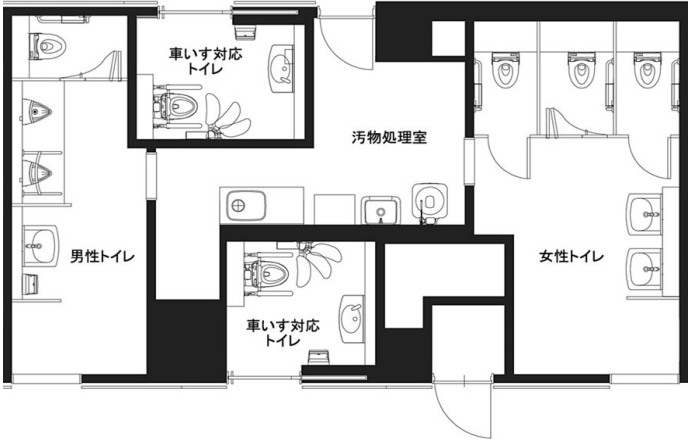


外観



鈴鹿中央総合病院は、鈴鹿市の市民病院の役割を果たす地域基幹病院。奥が本棟、手前が2018(平成30)年に完成した増築棟(北館)。鈴鹿サーキットから、約2kmに位置する。

本館5F トイレ図面



本館5F 男性トイレ 小便器コーナー



清掃性のよい壁掛式の自動洗浄小便器を採用。

本館1F 外来トイレ



病院内の和式トイレは、すべてウォシュレットを搭載した洋式便器に改修されている。

本館5F 男性トイレ 大便器ブース



大きな開口を確保した、大便器ブース。大便器は清掃性のよい壁掛式が採用されている。

本館5F 男性トイレ 洗面コーナー



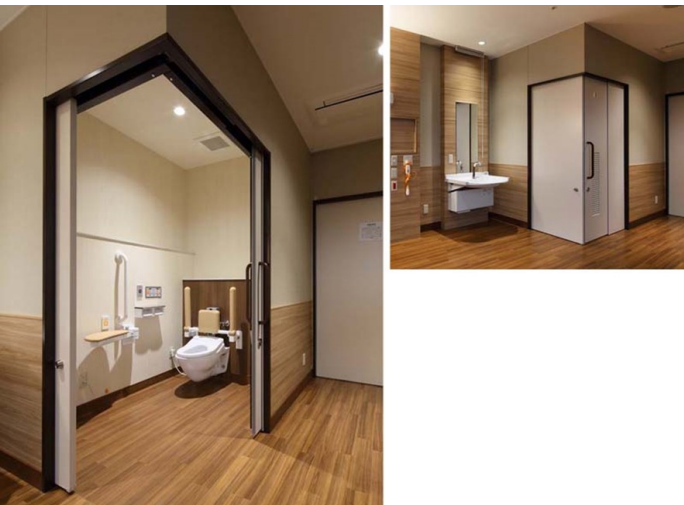
自動水栓、ハンドドライヤーが設置されており、非接触で手洗い行為が完結できる。

本館5F 女性トイレ 全体



中央のブースは入口開口を大きく確保。さらに男性トイレと女性トイレの間に汚物処理室を配置、作業効率に配慮している。

緩和ケア病棟 個室



ドアが2方向に開閉できることで、トイレ入口の開口が非常に広く確保でき、車いすでのアプローチや介助が行いやすいよう工夫がされている。

建築概要

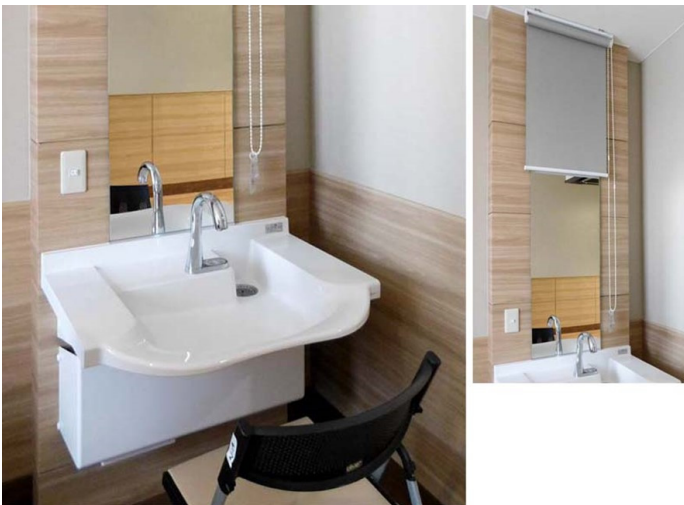
名 称	鈴鹿中央総合病院
所 在 地	三重県鈴鹿市安塚町山之花1275-53
施 主	三重県厚生農業協同組合連合会
設 計	<基本>株式会社大建設計 <実施>株式会社鴻池組
施 工	株式会社鴻池組
竣 工 年 月	本館:(改修)2019年9月 北館:(増築)2018年9月

本館5F 車いす対応トイレ



背もたれ付のトイレ用すりにに加え、便器移乗時の動作・姿勢の安定を図り、転倒リスクや介助者の負担を軽減する前方ボード(スイングタイプ)を設置。前方ボードは、排せつしやすい前傾姿勢の保持もサポート。

緩和ケア病棟 個室



車いすでのアプローチ性に優れた車いす対応洗面(配管カバーあり)を採用。洗面器上部の鏡には、ロールスクリーンを設置。治療やケア時の患者様の気持ちに、細やかな配慮がなされている。

水まわりの特長

<建物の特徴>
「鈴鹿中央総合病院」は、鈴鹿市の市民病院の役割を果たす地域基幹病院。二次救急医療を担っており、地域医療支援病院、災害拠点病院に指定されている。F1日本グランプリが開催される世界的にも有名なレーシングコース、鈴鹿サーキットからも近く、レース開催中の鈴鹿サーキット救急協力病院でもある。在宅介護支援センター、訪問看護ステーション、健診センター「オリーブ」を併設。2018(平成30)年には、緩和ケア病棟や血液浄化センターなどを有する増築棟(北館)が完成。地域の人々にとって「良質で高度な医療」を提供している

<トイレの特長>
本館のトイレ環境は、老朽化が進み、便器は和式が大半。改修後は清掃性のよい壁掛式の洋式便器を中心に採用し、ウォシュレットを設置。さらに、車いすでの利用が想定されるトイレでは、背もたれ付のトイレ用すりにに加え、転倒リスクや介助者の負担を軽減する前方ボード(スイングタイプ)を設置することで、便器移乗時の動作・姿勢の安定を図ることができるよう配慮されている。本館の改修、北館の完成に伴い、時代に即したトイレ環境が整備された。